

第38回 令和7年6月9日（月）

弓道部、関東大会お疲れさまでした。関東での勝利はすごいと思います。次の大会の糧にしてください。男女ハンド部のみなさん、週末のインターハイ県予選お疲れさまでした。女子の準決勝は本当に僅差でした。よく頑張ったと思います。

7日の土曜日、私は午前中パシフィコ横浜の「全公立展」に参加しました。手伝ってくれたみなさんありがとうございました。

午後は逗子でPTAの定期総会、夕方からは品川でISA（留学のお手伝いをする会社）の教員研修に参加してきました。

品川に久しぶりに行くとインバウンドの外国人の多さに驚きました。ここは日本？と思うくらい、品川の駅前はスーツケースを持った旅行者であふれています。

研修の内容はおおまかに言うと日本の学生に対する英語教育の在り方について。受験英語だけでなく、国際感覚を身に付け、グローバルな課題に対応するための英語力の向上についてでした。

英検準1級レベルをすべての高校生が卒業までに獲得することを理想とする、そのためには学校教育だけでは800時間不足しているので補助するプログラムを準備する、その一つが短期海外留学というものでした。

またシンガポールや台湾では英語そのものの授業だけでなく、すべての授業を「英語」でおこなう率がほぼ100%になっていて、日本はわずか5%という説明もありました。文化的な背景もありますが、その後の国際競争力を考えると課題の残る数字と言わざるを得ません。

AIなどのテクノロジーで英語教育は必要なくなるのではないか、という問題も提起されました。会場にいる管理職の方も将来の予測は難しいようでしたが、少なくとも現在においてAI通訳は非言語の部分（しぐさや表情などを含めて）はコミュニケーションが十分に果たせているとは言えません。英語教育は必須であることは疑いようがないでしょう。

しかしテクノロジーの進歩は年々加速化しているので今後どうなっていくのかはわかりません。これから変化を注視していく必要があります。それでも確かなことはバイリンガルに對面のコミュニケーションができるることは絶対に武器になります。信用性を築くうえでも必要なくなることはあり得ないと思います。

海外大学への進学も含め、環境問題などのグローバルな課題は一国のみで解決できないことは確かです。英語が大切であることはこの先も変わらないと思います。